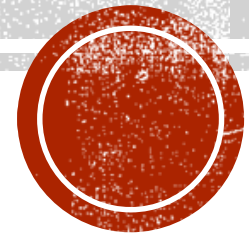


令和6年2月2日
島根県地域包括ケアシステム関係機関連絡会議

20年後のしまねに届ける地域包括ケア ～松田報告書を読み解く～

島根大学医学部環境保健医学講座

名越 究



本日のお話

- 改めて、島根県の人口推計を見てみる
- 松田報告書を読み解く
- 2040年のあなたの街とあなた
- 未曾有の大作戦
- 希望を探して



本日のお話

- 改めて、島根県の人口推計を見してみる
- 松田報告書を読み解く
- 2040年のあなたの街とあなた
- 未曾有の大作戦
- 希望を探して



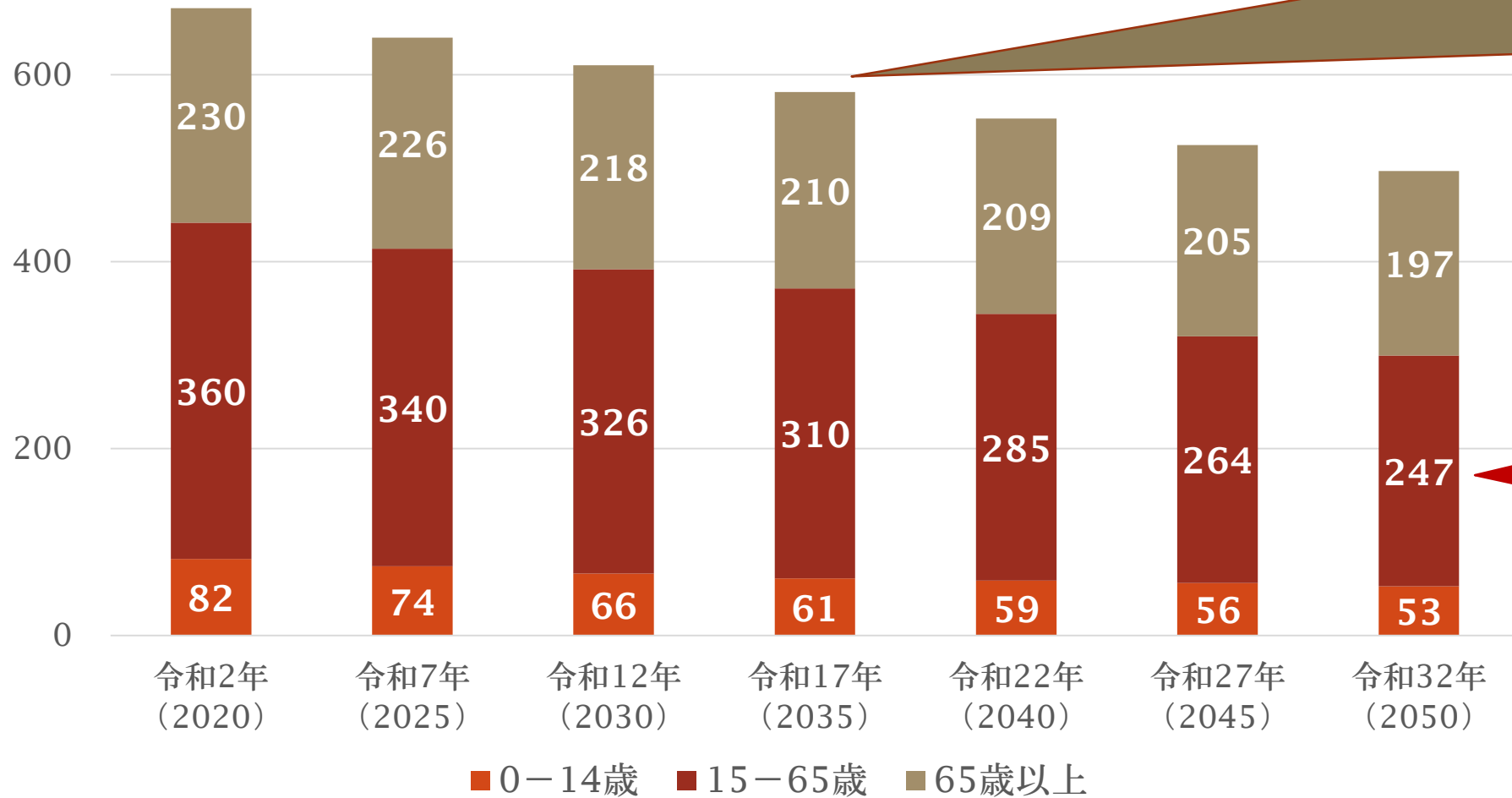
都道府県別総人口将来推計 (中国5県)

地 域	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
全 国	126,146	123,262	120,116	116,639	112,837	108,801	104,686
鳥 取 県	553	527	503	479	454	430	406
島 根 県	671	640	610	581	553	525	497
岡 山 県	1,888	1,832	1,774	1,713	1,646	1,578	1,510
広 島 県	2,800	2,704	2,618	2,526	2,428	2,328	2,230
山 口 県	1,342	1,268	1,199	1,129	1,059	991	926

(千人)



島根県の将来人口推計



高齢者人口
ゆるやかな
減少局面
医療・介護の
需要は大きく
増えない

生産年齢人口
2040年に
2割減
労働力確保が
厳しい



未来は予測できないことが多い

	島根県の動き	主な事件
1970年代	島根原発稼働、三江線全通	オイルショック、沖縄返還
1980年代	くにびき国体、出雲駅伝開始	チェルノブイリ事故、改元（平成）
1990年代	石見空港開港、レインボー就航	湾岸戦争、阪神淡路大震災
2000年代	宍道湖・中海淡水化中止、大合併	米国同時多発テロ事件、イラク戦争
2010年代	平成の大遷宮、三江線廃止	東日本大震災、改元（令和）
2020年代	山陰道延伸（暫時）	新型コロナ、ウクライナ侵攻
2030年代	独断で作成したものですので、ご容赦ください かみあり国体（予定）	???



「人口変化は確実な未来である

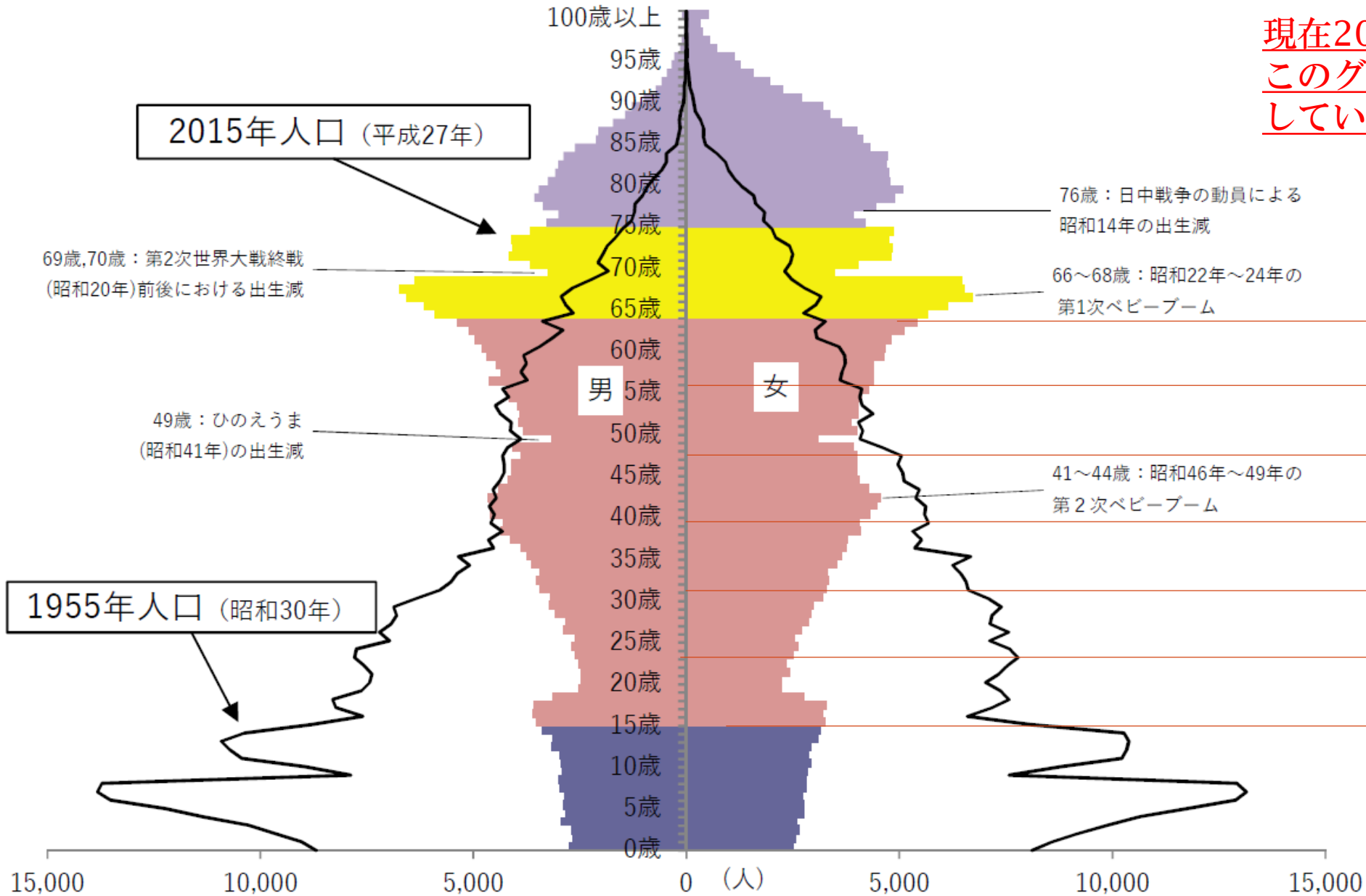
松田報告書より」

生まれた年代	2030年	2040年	2050年	年代の特徴	ITとの親和性	音楽媒体
1940年代	90歳台	100歳超	100歳超	団塊の世代	△	レコード カセット
1950年代	80歳台	90歳台	100歳超	新人類	△○	
1960年代	70歳台	80歳台	90歳台	バブル世代	○	CD
1970年代	60歳台	70歳台	80歳台	団塊ジュニア	○	MD
1980年代	50歳台	60歳台	70歳台	ミレニアル世代	◎	iPod iTune
1990年代	40歳台	50歳台	60歳台	ゆとり世代	◎	ダウンロード
2000年代	30歳台	40歳台	50歳台	Z世代	◎	スマホ
2010年代	20歳台	30歳台	40歳台	α世代	◎	サブスク ストリーミング

独断で作成したものですので、ご容赦ください



現在2024年、
このグラフが9年分上方移動
していることに注意！



(島根県人口シミュレーション2020から)



本日のお話

- 改めて、島根県の人口推計を見てみる
- 松田報告書を読み解く
- 2040年のあなたの街とあなた
- 未曾有の大作戦
- 希望を探して



松田報告書※の要旨

- 人口変化は確実な未来である
- 相対的に少ない担い手で医療介護サービスを効率的に提供していくためには、各自治体で実現可能な地域包括ケアシステムの在り方を考える必要がある。
- それは医療介護のみならず生活や住まいと言ったサービスも複合的に提供するものにならざるを得ない。
- それは各自治体の策定する総合計画に反映されなければならない。

※令和5年度「島根県内19市町村単位での人口推計、医療介護需要の推計作業及び分析作業」報告書



2030年くらいまでの医療・介護の将来像

	外来患者	入院患者	介護需要	
A	横ばい	増	増	松江市、出雲市
B1	減	横ばい	増	安来市 海士町、知夫村、西ノ島町、隠岐の島町
B2	減	横ばい	横ばい	雲南市、浜田市、江津市
C1	減	減	増	益田市
C2	減	減	横ばい	大田市、奥出雲町、飯南町、吉賀町
C3	減	減	減	川本町、美郷町、邑南町、津和野町

注：統計的に増減を検討したわけではなく、目視で定義しています
 同じグループでも住民、医療・介護資源には固有の事情があることに留意



2040年くらいまでの医療・介護の将来像

	外来患者	入院患者	介護需要	
α	横ばい	横ばい	増	松江市、出雲市
$\beta 1$	減	減	増	安来市、益田市、海士町、西ノ島町、知夫村、 隠岐の島町
$\beta 2$	減	減	横ばい	雲南市、浜田市、江津市、奥出雲町、飯南町、 吉賀町
$\beta 3$	減	減	減	大田市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、

注：統計的に増減を検討したわけではなく、目視で定義しています
同じグループでも住民、医療・介護資源には固有の事情があることに留意



今後のみとおし

	2030 まで	2040 まで	
I	A	α	松江市、出雲市
II	B1	$\beta 1$	安来市、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町
III	B2	$\beta 2$	雲南市、浜田市、江津市
IV	C1	$\beta 1$	益田市
V	C2	$\beta 2$	奥出雲町、飯南町、吉賀町
VI	C2	$\beta 3$	大田市
VII	C3	$\beta 3$	川本町、美郷町、邑南町、津和野町

注：統計的に増減を検討したわけではなく、目視で定義しています

同じグループでも住民、医療・介護資源には固有の事情があることに留意



本日のお話

- 改めて、島根県の人口推計を見してみる
- 松田報告書を読み解く
- 2040年のあなたの街とあなた
- 未曾有の大作戦
- 希望を探して



2040年のあなたの街

- プライマリケアへアクセスできるか
 - 救急医療は維持できるか
 - 亜急性期、回復期、慢性期医療は確保できるか
 - 入所系サービス（介護保険施設、介護福祉施設、サ高住など）はあるか
 - 在宅系サービス（ホームヘルプ、訪問介護、訪問看護等）はあるか
-
- ✓ そもそも人口がどれくらいで、そのうち生産年齢人口はどの程度いるのか
 - ✓ 交通、物流、産業、雇用はどうなっているか。



本日のお話

- 改めて、島根県の人口推計を見してみる
- 松田報告書を読み解く
- 2040年のあなたの街とあなた
- **未曾有の大作戦**
- 希望を探して



基礎自治体の地域包括ケア担当者

- あなたは、未曾有の大作戦の担当者（司令官、参謀、本部員）です
- これは、あなたの街の将来を左右する未曾有の大作戦であり、作戦計画書はあなた自身の手にあります。



作戦の目的

- 2040年を迎えた後も、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現



作戦の目標

- 2040年、自分が住む街にとって必要な医療・介護資源を特定し、確保する
 - ✓ 途中の需要の変化にも対応する
- 老若男女、健常な人も病気や障害のある人も、暮らしやすい街としての機能を保持し続ける



戦略

- 2024年、2030年、2036年と続く医療計画、3年おきの介護保険事業（支援）計画において、途中の需要の変化を踏まえた適切な見直しを行い、実行する。
- その際、目標達成を資することを念頭に自治体の総合計画（都市計画、住宅、物流、交通、産業、就労施策、通信、教育、健康づくり、疾病対策、障害者福祉、少子化対策、国民健康保険・後期高齢者医療制度 等）と整合性を取る。
- 社会資源を支える人材を育成する。



戦術①

- 多くの診療所に訪問診療を行ってもらう（医師会等への依頼）
- 在宅を支える後方病院とのネットワーク（特に高齢者救急体制の構築）
- 既存の療養病床や介護施設、開業医を維持するための施策
- 医療と介護の連携を具体化する
- 住民に地域包括ケアのコストを理解してもらう
- 隣接する市町との共同事業の創生
- 保険者圏域、老人福祉圏域を越えた協力体制の構築
- 県と市町村の直接的連携（調整機能）

（松田報告書で示された対策(抜粋)に演者加筆）



戦術②

- 介護予防、健康増進・栄養指導の強化
- ICTのインフラ整備と活用
- 住まう場所の見直し
- 医療機関・介護施設、商業施設を中心とした公共交通の再編
- 生活を支える物流の担保
- 教育と普及啓発（高齢者との交流を含む）
- 専門職の人材確保
- 外国人を含む外部人材の投入
- 行政で働く人材の確保・資質向上

（松田報告書で示された対策(抜粋)に演者加筆）



本日のお話

- 改めて、島根県の人口推計を見してみる
- 松田報告書を読み解く
- 2040年のあなたの街とあなた
- 未曾有の大作戦
- 希望を探して



□地域ぐるみで取り組む在宅医療介護地域
支えあい事業（江津市）

□広域的な医療提供体制の構築・連携に
向けたトツプミーティング（大田市）

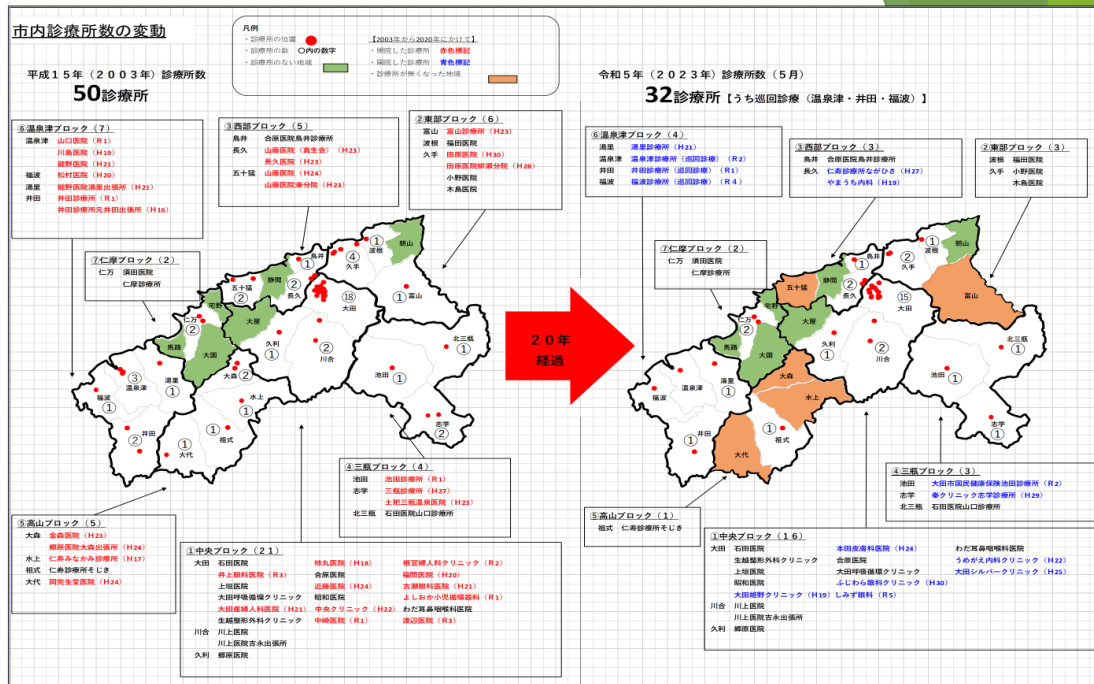


地域ぐるみで取り組む在宅医療介護地域支えあい事業 江津市

- I 医師との対話を通じた課題把握
- II 地域の医療介護資源の分析
- III 医師の在宅医療への取組促進に向けた環境づくり
- 質の良い在宅医療提供体制の構築と維持のための環境づくり
 - (1) **GO TUなぎ 在宅システム**
 - ① **看取り代診医紹介システム** (在宅＋施設患者、登録医制、土日休日)
 - ② **在宅医紹介システム** (相談医と在宅医、登録医制、E-mail)
 - ③ **在宅訪問薬剤師紹介システム** (相談医と薬剤師、登録薬剤師、E-mail)
 - (2) **病診連携によるかかりつけ医定着事業**
 - ① **地域開業医と病院医師との意見交換会**
 - (3) **症例検討会**
 - (4) **情報連携による連携強化**
 - ① **まめネット活用～加入促進と汎用文書送信サービス利用**
 - ② **MCS活用～在宅医療介護に取り組む関係者の情報共有**
- 「いつまでも自分らしく活躍できる『光齡社会』を目指して ～循環器病対策の推進と健康寿命の延伸～
 - (1) **地域丸ごと重症化予防** 心不全患者の重症化予防のため、教育～運動まで一体的に提供できる体制を作る



2024年1月26日 大田市 広域的な医療提供体制の構築・連携に向けたトップミーティング資料より



現状を踏まえ考えると.....

医療の安定的な確保は**単独の自治体や医療機関だけでは非常に困難**であり、これを解決して行くには自治体や医療機関が連携して問題解決に向け取り組んでいくことが必要である。

将来に渡って安定的な医療提供体制の構築・連携に向けて、隣接する**大田市、川本町、美郷町**、また、この圏域で急性期・回復期の医療を担う**大田市立病院、慢性期・在宅医療を担う社会医療法人仁寿会加藤病院との連携**をより強固とし、医療提供体制の課題解決に向けた検討を進める必要がある。



市長・町長・病院長の意見交換会

①地域医療提供体制の構築・確保に向けた意見交換会（大田市主催）

○日時／令和元年10月15日 15:25～17:10

○場所／大田市役所2階第1会議室

○参加者／・大田市長 梶野弘和 ・川本町長 三宅 実 ・美郷町長 嘉戸 隆
・大田市立病院 病院事業管理者（院長） 西尾祐二
・社会医療法人仁寿会加藤病院 理事長（院長） 加藤節司

②地域医療提供体制の構築・確保に向けた意見交換会（県央保健所主催）

○日時／令和4年 1月11日

○場所／新型コロナウイルス感染者の拡大のため書面開催

○参加者／・大田市長 梶野弘和 ・川本町長 野坂一弥 ・美郷町長 嘉戸 隆
・大田市立病院 病院事業管理者（院長） 西尾祐二
・社会医療法人仁寿会加藤病院 理事長（院長） 加藤節司

医療提供体制の構築・確保に向けた意見交換会

■第3回

●日時：令和5年2月16日（木） 10:00～11:30

●場所：ココカラファイン2階会議室（対面形式）

●参加者：10名

●主な内容：圏域内（無医地区）の医療提供体制について

■第4回

●日時：令和5年5月25日（木） 13:30～15:00

●場所：ココカラファイン2階会議室（対面形式）

●参加者：14名（令和5年度より県央保健所も参加）

●主な内容：医療提供体制の検討が必要な地域と具体的な取り組み

医療提供体制の構築・確保に向けた意見交換会

■第1回

●日時：令和4年7月28日（木） 13:30～15:00

●場所：大田市役所2階第1会議室（ハイブリッド形式）

●参加者：12名

●主な内容：1市2町2病院の現状・課題等について

■第2回

●日時：令和4年11月10日（木） 10:00～11:30

●場所：大田市役所2階第1会議室（ハイブリッド形式）

●参加者：11名

●主な内容：美郷町の医療提供体制・受診動向について

医療提供体制の構築・確保に向けた意見交換会

■第5回

●日時：令和5年9月25日（月） 13:30～15:00

●場所：大田市役所2階第1会議室

●参加者：13名

●主な内容：圏域の将来推計人口、
医療提供体制の検討が必要な地域と具体的な取り組み（案）

■第6回

●日時：令和5年11月27日（月） 10:00～11:30

●場所：ココカラファイン2階会議室（対面形式）

●参加者：14名

●主な内容：トップセミナーの内容協議

まとめ

- 予測可能な情報があれば、誠実に考察します
- 現場で起きていることをしっかり観察し、話を聞いて、分析します（保健所も相談に乗ります。自分の部署の枠組みを越えましょう。）
- 自らの自治体だけの情報だけではなく、必ず近くや遠くの他の自治体の状況も参考にします
- 作戦に関わる医療・福祉等関係者、他自治体との信頼関係を大切にします
- 計画策定の際は次期、次々期計画のことにも触れます
- 責任をもって、次の世代に託します
- 今からでも間に合います

